

# 平成30年度 第1回 釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議 次第

日時:平成30年7月26日(木)

午前10時30分～午前11時30分

場所:釧路市役所 防災庁舎5階  
災害対策本部室

## 1. 開会

・「釧路市まち・ひと・しごと創生推進会議 設置要綱」第六条第二項の規定により、委員11名中9名出席につき、過半数の委員の出席があったため、当会議成立を確認。

## 2. 委嘱状交付

<蝦名市長より、各委員へ委嘱状交付>

## 3. 市長あいさつ

## 4. 議長及び副議長選任

## 5. 議事

### (1) 総合戦略交付金対象事業の進捗管理について

・事務局より【資料1】「地方創生各種交付金における推進会議の役割」、【資料2】「平成29年度 地方創生推進交付金事業の概略と KPI」、【追加資料】「k-Biz」、「釧路応援ファンド活用事業」、「釧路観光コンベンション協会(地域連携DMO)観光戦略概要」、「阿寒DMO・DMCの取組み概要とビジョン」、「釧路物産展 in 日暮里」、「くしろ健やか festival」をもとに説明

委員より説明内容について質問あり

<以下、質疑応答【◎…議長 ○…委員 ●…オブザーバー ■…釧路市】>

◎DMOのところで、広域連携DMOと地域連携DMOの事業分担をして取り組んだ時に、組織が違うとなかなか難しいと思うが、今はDMO実施体制として地域連携DMOと他の2つのDMOが連携するという形の中で、仕組みとしてどんな形で連携されてどういう成果があるのか。

■釧路観光コンベンション協会については地域連携DMOという地域DMOより1つ大きい枠、広域で見なければいけない枠組みだが、もともとDMOを取得する前は、水のカムイ観光圏ということで釧路、阿寒、弟子屈の観光協会が連携して観光圏を進めてきた。この度DMOの体制で国が進めるとなったときに、この同じ観光圏の枠をそのままスライドさせてDMO化していくという形で組織の連携を図っている。阿寒の地域DMOと弟子屈の地域DMOは主にその地域の取り組みを中心に進めていくこととし、釧路観光コンベンション協会は地域のDMOはもちろんのこと、2つのDMOと協議しながら水のカムイを大きく進めていくことで自分の地域+大きい枠の水のカムイ観光圏の枠で進めていくという形で連携している。もともと母体が水のカムイであったということであまりうまくいっているが、地域でいろいろ特徴があるのでそこのまとめが難しいという話を聞いている。

◎データとか共有されているのか。

■している。水のカムイ自体でデータを取得しているので、そこを各地域に分散させたり、逆にその地域の合計をしていきながら、その地域にどういってお客さんが来ているのか、消費額などの調査を行っている。観光圏については国で必須事項として調査をしなければいけないと言われているので、そこを中心に調査をして共有を図っているという状況である。

○資料2について、KPIの指標値の年月が平成30年3月になっているが、平成30年3月が最終年度なのか。

■一番上の「わかもの・女性の希望がかなう「しごと」づくり事業」については3年間の事業で平成31年3月までとなっている。2つ目の「北海道DMOを核としたインバウンド等の受入環境づくり事業」と3つ目の「北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業」が5年間の事業で平成33年3月となっている。

○ここに書いている指標値は平成30年3月時点での表示ということか。

■当初計画を策定したタイミングで3、5年のKPIを当時作って、それに向けて進めており、今回は平成30年3月という標記になっているが、その当時に置いた設定から見て実績値はどうだったかという標記になっている。

○指標値を設定して、実績値を書いて、達成できているものとできていないものがあるが、今回のその事業がKPIの達成に向けてどれくらい効果的だったのか、どのようにとらえているのか教えていただきたい。

■雇用創出数については実際に事業に参加していただいた方や、創業相談があった方など、そういった方々がどう就職に結びついたのかというのを調査して、実際の数を集めた形になっているので、事業がそのまま効果として表れているのだと思う。従業員数については、経済センサスの従業員数を設定しており、平成29年度に関しては経済センサスのデータがないので、こちらの方で計算して出した暫定値だが、こちらの方は事業の取り組みは一生懸命やっているが、企業が倒産したり、人口が減ってきているという外部要因が影響してくるのが大きいと感じている。

◎他になければ、お一人ずつご意見をいただければと思う。

○東北海道DMOがあって、そこが将来どうやって、振興局のエリアだとか、市町村のエリアとか、全て取っ払った中で自由に動き回れるという状況なのかなと思っており、一方で釧路市がこれから進めていく観光事業と外部と、どう連携していくのが今後いいのかと私自身最近考えていて、釧路を中心とした広域の観光圏づくり、観光資源づくりをどうしていけばいいのかなと考えている。これらの事業がしっかりなされていることに非常に興味をしたし、今後、私の持っている情報を提供したいと思った。

○こういう事業が3、5年とかいうオーダーで進められていて、スピード感を持ってタイムリーな形で事業を進めていくのが必須条件なのだろうなと考えた中で、最近、命が危険になるほどの暑さが報道されている中で、地域としては釧路だけが非常に涼しいということも、今こそ声を上げるべきではないかと。物産展などによる食、アクティビティだとかは観光をPRするには優れているが、この涼しさもこれと同等の価値があるのではないかと。視点をいろいろ広げていくような取り組みが必要だと思った。

○今回初めて会議に参加させていただいて、色々な取り組みが行われていることを初めて知った。釧路が日本で一番涼しい場所と昨日のニュースで取り上げられていて、実家の京都の母も今年の暑さにはまいっていて、ニュースを見て「日本一涼しいんだってね、うらやましいと、あと長期滞在の人が多いいんだね」と言っていて、まだまだ釧路のことを知らない人がたくさんいると感じた。

また親戚の妊婦さんが今釧路に帰ってきているが、大阪に住んでいて暑くて子供を外で遊ばせられないと、釧路は快適だと話した。そういうのもっと広めていくべきだと、強力な武器になると思った。

阿寒のナイトフィールドミュージアムやフォレストガーデンがすごく楽しそうだなと思ったが、その事業を知ってもらわなければいけない。いくら楽しそうなことをしていてもそれを知っている人が少なければ意味がないので、どのように伝えていけばいいのか。FM釧路ラジオ局でもあるので全国にインターネットで聞いていただいて、本州のリスナーも多いので上手に魅力を伝えていって、口コミでどんどん広めてもらえるような伝え方をしていきたいと思った。

○観光立国ショーケースや水のカムイだとかとても頻繁に取り上げられるようになって、先進的に進んでいるのかなと思う。その中で阿寒観光協会が、自分たちの地域をよくわかって上手にPRされているのか、そういう意味で成功されているのかなと思う。観光はまだまだ滞在日数が少ないとあって、一方で長期滞在がクローズアップされているが、高齢者が多くて若い方の長期滞在はどうするのが課題となっている。私の兄弟も奈良に住んでいて夏休みになったら逃げてくるというところがあって、子供たちの夏休みに長期滞在のような親同伴でぜひどうぞみたいなそういうプロモーションもあっていい。阿寒、摩周とか子供が遊べる大自然がたくさんあるので、そういう切り口があっていいのかなと思った。長期滞在の人は独自ネットワークで毎年会うのを楽しみにしているというネットワークができていそうなので、そこから外に発信してもらおう仕組みを長期滞在の人と仕組みづくりを一緒にしていっても効果があるのではと思っている。

もう1つの事業の中で割と真面目系というか、応援ファンも楽しみにしているが、楽天の連携事業で、楽天に出店しようという事業をやっているということを知ったが、それも成功事例としてもっとPRしてもいいのではと思う。ショートチーズだけでなく楽天の方に出品して効果が出ているような店があれば、先進事例としてもっと発信していけば、後に続く人が頑張れるので、そういう発信の仕方もいいと思う。

○今日ご紹介があったように関係機関等を取り込んで上手に進めていると思う。ただ、情報発信の仕方とかより多く人を巻き込むようなシステムが必要だと思う。特に観光、交流という面では一般市民がこういう観光をした方がいいのではないのかという説明ができるくらい、旅行を求めている人が釧路にいたらこんなことができるというモデル的な観光、すぐ理解できるような発信だとか、様々な人が取り組んでいくということが正しい形なのではないかと思う。

○この3つの事業の中で、女性の就労に関する事業を市の事業としてやらせていただいたことがある中でのご報告だが、20人の受講者の中で19名の就職があった。残り1人は妊娠で就職活動を中断した方なのでほぼ100%なのだが、この方たちにどういうことを言ったのかというと、自分の頭で考えようとずっと言ってきていて、自分たちでしたい講座を自分たちで考えるという講座を行った。聞きたい人の話を聞く、行ってみたいところに行く、この人の話を聞いてみたいという人とどのようにアポ

を取るのだろうということを含んで考えると、そういうことをやっているうちに自分の行きたい就職先や、やりたいことが自分の頭の中に出てくるというのを経て、3か月のアフタースクールから就職に結びついている。また就職すればいいのではなく、長期的な支援や体制が必要と思っており、特に女性はお子さんだとか介護だとか、そこにまつわる家庭環境とか家族環境とかもピンポイントで活動しているので、女性は1回就職したらいいのではなくて、今子供が小さいから生まれた後はパートがいいが、将来的には一人前の収入が必要だとか、本気で自分のやりたことをするためのステージを踏んでいるということを理解しないとならないので、今までの流れを知っている人の助言というか、伴奏する人間というかそういう支援が必要かなと思う。なので事業としては、単年度は仕方ないと思うが、そこを長期で考えていただければと思う。今年度の事業は職業体験とか合同企業説明会とか、自分の会いたい企業をまず探すということを考えていて、そのスクールも長いスパンでの事業として考えていただければと思う。

○全体的に人口減少していく中で、どう活力を維持していくかが大きな目的としてあると感じていて、鉦路市民としてこれからも元気になってほしいという思いもあるので、そういった政策に少しでも力になれたらと思う。資料をいただいたが、これだけだと僕自身、どういう風に関わって協力したらいいのかが分かりづらかったというのがあり、どういう形で会議に貢献できるのかなというのがあるとやりやすかったと思う。比較的僕は最初の会議から参加をさせていただいていたので、流れは見ているところだが、施策の細かいところもしっかり見つつ、大きな目的の中の1つ1つの事業があるところも大事だと思うし、KPIの達成状況とか質問させていただいたが、事業を行ったことによって単純に数字上で達成した、しないだけでなく、指標があって1つ1つの事業がKPIを達成して鉦路をよくしていく方向に作用してくことが大事と思った。そういった事業が今後継続されていけばと思った。

○涼しさをいかに活かすかというところが勝負で、お子さんをお持ちの首都圏の方たちは40日もある夏休みの中で、子供を外にも出せないということで、結局テレビ、インターネットづけになっていることに危惧を感じている方も多いと思う。その中で阿寒に滞在して親子で自然体験できる、祭り、カヌー、山登り、キャンプ、酪農、農業など、阿寒に滞在しながらこれだけのことがいっぺんにできるというようなパッケージを提案して、そこに暑い首都圏で暮らしている子供や親の方にたくさん来てもらうような仕掛けを考えていただけないかというのが1つ。

リモートオフィスという夏の暑い間に在宅勤務とか、リモートオフィスとかの考えで、首都圏の方が夏に外に行って、そこからリモートで仕事をするという流れが今後加速すると思う。なのでそういうリモートオフィスができる場所をたくさん提供できるというのを、大きな企業の方にアピールして、とにかく夏にこっちに来て仕事をしてもらうような提案をしていただけないかと思う。

◎鉦路は涼しいということは私が着任するまで知らなかったし、今まさに長期滞在。来て初めてわかることもあるので、また私みたいに知り合いがいるから来るが、最初は難しいのでどういうことをすれば長期滞在ができるのかという情報発信のほうをしっかりとやっていただきたいのと、あとKPIの関係、地方創生の関係でこういう事業が行われて、こういうKPIが発生して、今後どういう風にしていくのか。先ほど市長のご挨拶をおうかがいして、市の思いは我々はわかるが、実際に聞いてない人とかは資

料だけでは難しい部分もあるので、やはり情報をわかりやすく発信していくことが大事だと思った。

●3つの交付金事業の実施結果とKPIについて説明があつて、KPIを見ても分かる通り、従業員数については外的要因もあるのでしかたない部分があると思うが、おおむね順調に成果が出ているのかなと思った。釧路市と民間セクターが連携を取りながら進めているのかなと思う。k-Bizについては全道からものすごく注目されている取り組みで、予約もたくさん入っているということで、これについても期待できると思うし、観光、長期滞在も、夏の涼しさ、航空会社なども釧路道東地域に注目度も高くなっているので、可能性もまだまだあるので、支援や協力しながら進めていきたいと思う。

## (2)総合戦略の施策とKPIの追加等について

・事務局より説明

◎本日各委員やオブザーバーから様々なご意見を頂いた。頂いた助言については今後の総合戦略の推進に生かして頂ければと思う。

## 6. 閉会

(了)